

平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 クロニクル

コード番号 9822 URL <http://www.chronicle-net.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀 達夫

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 久保田 峰夫

TEL 03-5771-1200

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	579	△29.8	△227	—	△237	—	△259	—
23年9月期第1四半期	825	△13.0	△214	—	△228	—	△291	—

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 一百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	△5.12	—
23年9月期第1四半期	△0.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第1四半期	3,811	3,515	92.1	—
23年9月期	3,960	3,669	92.7	—

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 3,511百万円 23年9月期 3,669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—				
24年9月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,200	△22.4	△250	—	△250	—	△250	—	△5.20
通期	2,950	6.1	25	—	20	—	20	—	0.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	53,969,237 株	23年9月期	48,969,237 株
24年9月期1Q	1,709 株	23年9月期	1,709 株
24年9月期1Q	50,634,195 株	23年9月期1Q	461,675,960 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予測に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、長引く円高や雇用情勢の悪化等、また、東日本大震災及びこれに起因する福島第一原発事故により長引く震災被害の影響により、依然として厳しい状況の中で推移しております。

このような状況の下、現在における当社グループの事業は、株式会社クロニクル及び株式会社クリエイト24による投資事業、株式会社アメイジングバリューによるリセール・オークション事業及び株式会社ドゥーズによる正規品販売事業として業態の住み分けを明確にした宝飾品事業、株式会社エーディーアンドディー及び株式会社ビジネスアルファ24並びに株式会社エフ・データクリエイションによるWEB情報事業、さらに、株式会社アメイジングバリューによるリサイクル事業及び流通サービス関連事業により展開しております。

当第1四半期連結累計期間における当社及び当社グループ全体の売上高は579百万円（前第1四半期連結累計期間は825百万円で前第1四半期連結累計期間比29.8%減）に止まり、経済環境の低迷による影響を受ける厳しい状況が続いております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[宝飾品事業]

利益率向上を目的とし、高級輸入時計を中心とするリセール・オークション事業や国内における小売営業展開を積極的に行い、シェア拡大・向上に務めておりますが、売上高は183百万円（前第1四半期連結累計期間は164百万円で前第1四半期連結累計期間比11.1%増）に止まり、現在の経済環境等による影響の下、厳しい事業展開を余儀なくされた結果となっております。

[投資事業]

昨今の経済事情を鑑み、慎重に資金運用した結果、売上高は1百万円（前第1四半期連結累計期間は6百万円で前第1四半期連結累計期間比71.8%減）に止まりました。

[WEB情報事業]

結婚情報サイト「ピュア・アイ」の運営、WEB広告や通信販売事業等を積極的に展開しておりますが、売上高は307百万円（前第1四半期連結累計期間は520百万円で前第1四半期連結累計期間比41.0%減）に止まりました。

[流通サービス関連事業]

対象業種として当面は軽飲食サービスに限定するものの、当該軽飲食サービスへの収益性の高いコンサルティング業務、業務受託形態の事業展開を積極的に展開しておりますが、当第1四半期連結累計期間の売上高は85百万円（前第1四半期連結累計期間は100百万円で前第1四半期連結累計期間比14.3%減）となりました。

[リサイクル事業]

当社の中心事業である宝飾品販売のノウハウを生かし、金やプラチナを中心とした貴金属等の買取りサイクルブランド「黄金市場」を立ち上げ、「売る」から「買う」ビジネスモデルとして事業展開を行っております。当社グループの高額商品を取扱う中で培ってきた接客スキルとノウハウを他業種で活用する新たなビジネス展開を立ち上げておりますが、当第1四半期連結累計期間の売上高は1百万円（前第1四半期連結累計期間は34百万円で前第1四半期連結累計期間比95.6%減）に止まっております。

以上の結果、売上高におきましては579百万円（前第1四半期連結累計期間は825百万円で前第1四半期連結累計期間比29.8%減）、営業損失におきましては、商品評価損51百万円及びのれんの償却費39百万円並びに貸倒引当金繰入額22百万円等の計上により△227百万円（前第1四半期連結累計期間は営業損失△214百万円）となりました。

経常損失におきましては、貸倒引当金繰入額22百万円等による営業外費用22百万円の計上により△237百万円（前第1四半期連結累計期間は経常損失△228百万円）となりました。

四半期純損失におきましては、減損損失19百万円による特別損失の計上により△259百万円（前第1四半期連結累計期間は四半期純損失△291百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産につきましては、前連結会計年度末に比べて148百万円減少し、3,811百万円となりました。

資産減少の主な内容は、商品の減少額48百万円及びのれんの償却に伴う減少額39百万円並びに貸倒引当金の増加額39百万円等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて4百万円増加し、295百万円となりました。

負債増加の主な原因は、未払金の増加額9百万円及び買掛金の減少額2百万円並びに短期借入金の減少額2百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて153百万円減少し、3,515百万円となりました。

純資産減少の主な原因は、四半期純損失△259百万円の計上及び新株予約権の行使による増資額100百万円による

ものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年11月18日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、平成22年9月期に△648百万円及び前連結会計年度である平成23年9月期に△756百万円と連続して営業損失を計上しており、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべくWEB情報事業の拡大及びM&Aや事業譲受等の事業拡大・強化の計画により売上高と利益率の向上を図っております。

具体的な施策としましては、WEB情報事業の新規情報配信コンテンツの立ち上げやWEB広告、WEB通販の拡大による新たな顧客層の獲得、販路の拡大、また、今後想定しております収益性を重視したM&A等による事業拡大により、売上及び収益の拡大を見込んでおります。

今後は関連会社の拡大・安定した収益の取り込みによる増収増益及び海外リセール・オークション事業の再開及びWEB販売により新たな顧客層の獲得による宝飾品事業の回復安定化を行ってまいります。

上記の諸策により、売上高及び利益の増加を見込んでおり、また、不確実性も認められません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	165,096	179,146
売掛金	212,145	185,055
営業投資有価証券	2,862	2,803
営業出資金	911,616	912,089
商品	613,809	564,855
繰延税金資産	9,758	8,661
その他	74,496	63,698
貸倒引当金	△43,715	△48,560
流動資産合計	1,946,069	1,867,750
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	57,103	57,885
減価償却累計額	△14,545	△14,858
減損損失累計額	△9,712	△9,712
建物及び構築物 (純額)	32,844	33,315
工具、器具及び備品	79,857	80,172
減価償却累計額	△64,699	△64,905
減損損失累計額	△11,749	△11,749
工具、器具及び備品 (純額)	3,409	3,518
車両運搬具	4,830	4,830
減価償却累計額	△2,570	△2,570
減損損失累計額	△2,259	△2,259
車両運搬具 (純額)	0	0
土地	75,445	75,445
有形固定資産合計	111,700	112,278
無形固定資産		
のれん	1,644,435	1,605,380
その他	35,852	19,289
無形固定資産合計	1,680,288	1,624,670
投資その他の資産		
投資有価証券	37,719	37,719
破産更生債権等	1,430,567	1,447,526
長期貸付金	29,562	29,890
長期未収入金	89,968	89,747
その他	114,631	117,179
貸倒引当金	△1,480,216	△1,515,183
投資その他の資産合計	222,231	206,879
固定資産合計	2,014,220	1,943,828
資産合計	3,960,289	3,811,579

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	100,739	97,795
未払金	84,027	93,779
短期借入金	9,184	7,184
未払法人税等	5,078	4,306
賞与引当金	3,312	1,240
その他	64,239	67,565
流動負債合計	266,582	271,871
固定負債		
退職給付引当金	7,879	8,214
長期借入金	13,856	13,088
その他	2,666	2,605
固定負債合計	24,402	23,908
負債合計	290,984	295,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,050,275
資本剰余金	1,076,598	1,126,873
利益剰余金	△2,400,933	△2,660,193
自己株式	△525	△525
株主資本合計	3,675,138	3,516,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,833	△5,360
その他の包括利益累計額合計	△5,833	△5,360
新株予約権	—	4,730
純資産合計	3,669,305	3,515,799
負債純資産合計	3,960,289	3,811,579

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
売上高	825,832	579,574
売上原価	407,675	383,754
売上総利益	418,157	195,820
販売費及び一般管理費	632,850	423,008
営業損失(△)	△214,693	△227,188
営業外収益		
受取利息	444	149
受取配当金	994	15
為替差益	—	9,543
債務戻入益	3,070	—
受取家賃	2,532	2,420
雑収入	8	232
営業外収益合計	7,049	12,361
営業外費用		
支払利息	82	5
支払保証料	32	32
為替差損	19,913	—
貸倒引当金繰入額	2	22,760
持分法による投資損失	1,200	—
雑損失	—	170
営業外費用合計	21,230	22,968
経常損失(△)	△228,873	△237,795
特別利益		
貸倒引当金戻入額	10,541	—
その他	952	—
特別利益合計	11,493	—
特別損失		
商品廃棄損	30,762	—
訴訟和解金	12,000	—
株主名簿引継手数料	25,948	—
減損損失	—	19,878
特別損失合計	68,710	19,878
税金等調整前四半期純損失(△)	△286,090	△257,673
法人税、住民税及び事業税	5,408	488
過年度法人税等	447	—
法人税等調整額	△742	1,097
法人税等合計	5,113	1,585
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△291,204	△259,259
四半期純損失(△)	△291,204	△259,259

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成22年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△291,204	△259,259
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△979	473
その他の包括利益合計	△979	473
四半期包括利益	△292,183	△258,785
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△292,183	△258,785
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年10月1日至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル 事業	
売上高						
外部顧客への 売上高	164,932	6,675	520,043	100,121	34,059	825,832
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,480	9,020	716	—	—	11,216
計	166,412	15,695	520,759	100,121	34,059	837,049
セグメント利益 又は損失(△)	△34,022	△104,387	36,403	△7,819	577	△109,248

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△109,248
セグメント間取引消去	△577
のれん償却額	△39,008
棚卸資産の調整額	△6
貸倒引当金の調整額	△65,217
減価償却費の調整額	△632
四半期連結損益計算書の営業損失	△214,693

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年10月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					合計
	宝飾品事業	投資事業	WEB情報事業	流通サービス 関連事業	リサイクル 事業	
売上高						
外部顧客への 売上高	183,269	1,881	307,096	85,832	1,494	579,574
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,029	3,453	3,069	—	—	7,552
計	184,298	5,335	310,166	85,832	1,494	587,127
セグメント利益 又は損失(△)	△63,403	△73,790	△34,426	△9,766	△7,886	△189,273

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	△189,273
セグメント間取引消去	304
のれん償却額	△38,370
棚卸資産の調整額	57
減価償却費の調整額	93
四半期連結損益計算書の営業損失	△227,188

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「WEB情報事業」セグメントにおける事業用資産である「ソフトウェア」について、当第1四半期連結累計期間において収益性が著しく低下しているものと判断し、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該「WEB情報事業」セグメントにおける当該減損損失計上額は、当第1四半期連結累計期間においては19,878千円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年12月26日付で第三者割当による新株予約権480個を発行しており、うち、50個について、割当先のひとつであるRed Drum Invest Limited（レッド ドラムインベスト リミテッド）より権利行使がなされ、平成23年12月29日付で払込金100,000千円及び新株予約権550千円の振替に基づく5,000,000株の新株発行及び増資が行われております。この結果、当第1四半期連結会計期間において資本金が50,275千円及び資本準備金が50,275千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が5,050,275千円、資本準備金が50,275千円となっております。

(6) 重要な後発事象

当第1四半期連結会計期間（自平成23年10月1日 至平成23年12月31日）

（重要な子会社等の株式の売却及び重要な契約の解除）

当社は、平成24年1月23日開催の取締役会において、当社の完全子会社である株式会社クリエイト24が保有

する当社の持分法適用関連会社である株式会社ベルモアカフェ株式を全て譲渡すること及び当社の子会社である株式会社アメイジングバリューと株式会社ベルモアカフェ間の業務提携契約を解除することを併せて決議いたしました。

当該株式売却の理由と致しましては、当社を取り巻く経営環境は非常に厳しい状況が続いており、平成23年12月22日開催の第32期定時株主総会でご承認を頂きました新株予約権の発行、当社グループの中期経営計画の推進等、経営基盤を盤石にするための施策を実行しております。そのような中、現状における流通サービス関連事業の遊技場における軽飲食サービス業務につきましては、昨年3月に起きました東日本大震災の影響により当該事業の収益率の落ち込みが続き、当該市場の収益の回復には相当期間を要することから、当第1四半期会計期間における収益の低下等を勘案した結果、軽飲食サービス事業の継続は当社グループにおける今後の事業展開において有益な事業となる可能性が低いと判断し、当社グループの経営資源の選択と集中の観点から、当該事業から撤退することによるものであります。これらの理由に伴い関連会社株式の売却及び業務提携契約の解除に至ることとなりました。

なお、軽飲食サービス事業は当社グループのセグメントにおける流通サービス関連事業に属しますが、コンサルティング業務や受託業務は引続き行われることから、セグメントとしての流通サービス関連事業自体は継続いたします。

株式売却及び業務提携契約解除の内容は次のとおりです。

1. 株式売却の相手会社の名称
有限会社MKパワーズ
2. 売却及び契約解除の時期
平成24年1月23日
3. 当該子会社等及び契約解除の相手会社の名称、事業内容及び会社との取引内容(契約内容)
名 称 株式会社ベルモアカフェ
事業内容 遊技場への軽飲食サービス
取引内容 当社の子会社である株式会社アメイジングバリューが行っている流通サービス関連事業において、株式会社ベルモアカフェの軽飲食サービス事業の受託業務を行っております。
4. 売却する株式の数、売却価額、売却損益及び売却後の持分比率
売却株式数 24株(議決権数24個、持分比率40%)
売却価額 5,500千円(1株当たり229千円)
売却後の持分比率 -%
5. 契約の解除が営業活動等へ及ぼす重要な影響
株式の売却により、平成24年9月期連結決算におきまして、関係会社株式売却益として約3百万円の特別利益が発生する見込みであります。
ただし、当該売却により発生する特別利益は、平成23年9月期末時点における当該株式の簿価と売却価額との差額により発生するものであります。平成22年12月に当該株式を保有する当社の100%子会社である株式会社クリエイト24(当時は株式会社クリエイト21)を完全子会社するための株式交換時点における同社評価額は63百万円であり、その後、平成23年9月期末において同社株式に対し子会社株式評価損計上を行ったことを考慮致しますと、実質的には利益とは言い難いと考えております。
6. その他重要な特約、事項等はありません。